8月 学校だより 渡子小学校

平成２１年７月１７日
校長　長江留理子

子ども達にとっては，楽しさいっぱいの（おうちの方にとってはあまりうれしくない？）夏休みです。私の小学校の頃のことを思い出してみました。夏休みといえば，「♪新しい朝が来た，希望の朝だ・・♪で始まるラジオ体操」にはじまり，「セミとり」，「近所の友だちといっしょに行った川での水泳」（時には姉達に連れられて池でも泳いでいました。・・・今では考えられません。）「自転車で来るアイスキャンディーやさんを１０円を握りしめて追いかけたこと」，「宿題が残っていて，３１日に眠り眠り父の助けを借りて（ほとんど父がやりましたが）できた研究物―なすびの成長記録―」等々・・・いろんな思い出がよみがえります。

時代とともに環境や様子が変わってきましたが，家族の絆，地域でのむすびつきを大切にする夏休みであってほしいと思います。



春に福山の仙酔島（仙人も酔うほどいい島という意味です。）に行き，野生の「たぬき（狸）」に出会いました。「狸」という字は，里のけものと書きます。人里ちかくで暮らしていることを字が表しています。狸は岩のすき間，木の穴などを巣穴にしています。狸はつめが短くて，穴を掘ることはできませんが，穴堀り名人の「むじな（狢）」のすみかに入らせてもらい，一緒に暮らすこともあります。狸が狢の子育てをして，狢が狸の子育てをするなど，お互い助け合って生きているのです。なんだか，私たちが忘れかけている一昔前の日本の長屋の暮らしのようですね。

近頃，山林開発などで居場所が少なくなって，狸が町に下りてきて，道路で車にはねられる・・・ということがあります。この原因として，狸の習性が関係しています。それは，動物には①ライトを見ると，逃げるタイプ　②ライトを見ると，一瞬立ち止まるタイプ　③ライトを見ると，それに向かって行くタイプがあり，①の代表格は犬，②は猫，③が狸です。狸はさらに，パッと光を浴びせられると，狸寝入りまでしてしまうそうです。（ドライバーからしてみると，急に飛び出してきて，おまけに向かって来られては，いくら気をつけていても・・・という気がしないでもありません。）でも，狸は大変情のある生き物です。交通事故などで，親や子，兄弟，奥さん，だんなさんが亡くなると，３日３晩飲み食い一切せずに，ずーっと物陰から見つめているのだそうです。そんな愛情深い動物だからこそ，人間に化けたり，人間の中に溶け込んだりして，人間とともに生きる姿が昔話として残っているのですね。



高速道路にある看板

仙酔島にある看板
タイトルは　**絆**
たんたんからのお願い

僕たちはずーっと昔からこの仙酔島で平和に暮らしてたんだ。みんなにかわいがられてエサもたくさんもらって，僕たちの子どもはどんどん増えていって，４０～５０頭もの大家族になっちゃった。小さな島にこれだけ増えると子ども達を養っていくのは大変。ホントは怖いんだけど人間に愛嬌ふりまいて，エサをおねだりしたり，兄弟ゲンカしてエサを奪い合ったり，冬なのに冬眠できなくなってしまったり・・。いつの間にかケガをした仲間たちが増えてきてしまった。人間が争う理由も同じだよね。食べ物のこと。土地（領土）のこと・・・。僕たちもだんだん，そういうのやめにしようと思うんだ。だから，僕たちにエサを与えないでください。あなたの優しさで増えた僕たちだけど，このままいくとあなたたちの優しさ？で，みんないなくなってしまうかもしれないから。